

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月23日

計画の名称	青梅市における快適な住環境の実現（第2期）												
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	青梅市												
計画の目標	未普及地域における下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	94	A	94	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R2末
1	青梅市全体の下水道処理人口普及率を98.0%（R2当初）から99.5%（R2末）に増加させる。 市全体の下水道処理人口普及率 処理区域人口（人） / 全体人口（人）	98%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	管渠（ 污水）	新設	枝線布設（未普及解消）	小曾木・第3期・御岳山事業 区域 L=13.07 km、A=46 .41 ha	青梅市	■					94		—
R2年度から重点条件変更をうけ、本計画の基幹事業を移行。事後評価はR3年度に同時に受ける。																			
											小計						94		
											合計						94		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

青梅市下水道事業運営検討委員会において実施

事後評価の実施時期

令和4年2月16日

公表の方法

青梅市公式ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

青梅市全体の下水道処理人口普及率が97.8%（R2年度当初）から98.1%（R2年度末）に増加した。小曾木、第3期および御岳山の各事業区域で、整備を進めたことにより、下水道処理人口普及率が増加し、未普及地域の解消を促進することができた。なお、小曾木事業区域、第3期事業区域についてはおおむね面的整備を完了した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

期間内に行われた整備により846人の居住する区域が新たに公共下水道の供用開始区域となった。

○特記事項（今後の方針等）

第3期事業区域、小曾木事業区域については、わずかに残された施工困難箇所等について検討し整備を進める。御岳山事業区域は、残る未整備区域6.15ha（計画の87%）の整備および事業区域と既整備区域をつなぐ連絡管の整備を推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	98%
		御岳山事業区域整備が遅れていること、小曾木事業区域について一部未整備箇所が残ったことによるほか、人口減少が普及率の算定に影響した。